**Perforce Software社製品のライセンスについて**

この度は、Perforce Software社製品をご購入いただきまして、誠に有り難うございます。

Perforce Software社製品の正式ライセンスを取得するためには“rlmutil rlmhostid -ether”コマンドの実行結果をお知らせいただく必要がございます。お手数ですが、2ページ目の**ライセンス申請書**に必要事項をご記入の上、お早めにご申請下さいますようお願い申し上げます。

1. ホストIDの取得

ホストIDの取得は“rlmutil rlmhostid -ether”で行います。

* 1. ライセンスサーバにするコンピュータの任意のディレクトリにRepriseをインストールして下さい。RepriseはインストールCDの中に含まれますが、以下のURLからダウンロードすることもできます。（最新のバージョンをお使いください。）

Windows版:

<http://www.programmingresearch.com/downloads/Windows/Reprise>

Solaris版:

http://www.programmingresearch.com/downloads/Unix/Solaris/Reprise

Linux版:

http://www.programmingresearch.com/downloads/Unix/Linux/Reprise

なお、Windows 7をお使いになられる場合、

Windowsのユーザアカウント制御機能(UAC)の影響を避けるため、C:\Program Files配下へのインストールを避けていただくようにお願いいたします。

* 1. コマンドプロンプトを起動し、Repriseをインストールしたディレクトリに移動して下さい。
  2. “rlmutil rlmhostid -ether ”を実行して下さい。  
     例えば、Windowsでは以下のようになります。コマンドプロンプトで実行する必要があります。

C:\Program Files\PRQA\Reprise>rlmutil rlmhostid -ether

rlmutil v7.0 Copyright (C) 2006-2009, Reprise Software, Inc. All rights reserved

No license line checksum errors found

Hostid of this machine: xxxxxxxx

^^^^^^^^^

　こちらのホストIDを申請書にご記入ください

**注意:**

* **ライセンスの発行は、保守契約を結んで頂いているお客様に限らせていただきます。**

**送付先** E-MAIL：　[ss\_lic@toyo.co.jp](mailto:ss_lic@toyo.co.jp)

FAX：　03-3246-0645　 TEL：　03-3245-1248(直通)

(株)東陽テクニカ　ｿﾌﾄｳｪｱ･ｿﾘｭｰｼｮﾝ　QA･Cライセンス申請係 宛

**Perforce Software社製品（Ｒｅｐｒｉｓｅ）ライセンス申請書**

本申請書は、QA･C7.2.3J-R/QA･C++2.5.1J-R/QA･Verify1.3Jおよび、これ以降のバージョン用です。

ご記入にあたっては、別紙の記入要領に従って、①～⑳までを楷書ではっきりとお書き下さい。

E-Mail([ss\_lic@toyo.co.jp](mailto:ss_lic@toyo.co.jp))またはFAXでお送り下さい。

|  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| ①　申請形態 | | | 新規　/ 追加　/ バージョンアップ　/ ライセンスタイプ変更(FLEXlm->Reprise) | | | | | |
| 【　旧ライセンス情報　】 | | | | | | | | |
| ② 旧ライセンスファイル名 | | |  | | | | | |
| 【　お申込みライセンス情報　】 | | | | | | | | |
| QA  ･  C | QA・Cが実行されるプラットホーム | | | Windows | Ｓｏｌａｒｉｓ | | | Ｌｉｎｕｘ |
| ③　ライセンス数 | | |  |  | | |  |
| ④ 管理番号 | | |  |  | | |  |
| MISRA C:2004 | | ⑤管理番号 | |  | | | | |
| MISRA C:2012 | | ⑤管理番号 | |  | | | | |
| CERT C | | ⑤管理番号 | |  | | | | |
| CWE C | | ⑤管理番号 | |  | | | | |
| QA  ･  C++ | QA・C++が実行されるプラットホーム | | | Windows | Ｓｏｌａｒｉｓ | | | Ｌｉｎｕｘ |
| ⑥ ライセンス数 | | |  |  | | |  |
| ⑦管理番号 | | |  |  | | |  |
| MISRA C++:2008 | | ⑧管理番号 | |  |  | | |  |
| AUTOSAR C++ | | ⑧管理番号 | |  |  | | |  |
| CERT C++ | | ⑧管理番号 | |  |  | | |  |
| CWE C++ | | ⑧管理番号 | |  |  | | |  |
| Q  A  ･  V | QA・Vが動作するプラットホーム | | | Windows | Ｓｏｌａｒｉｓ | | | Ｌｉｎｕｘ |
| ⑨ サーバ用ライセンス数 | | |  |  | | |  |
| ⑩ クライアント用ライセンス数 | | |  | | | | |
| ⑪ 管理番号 | | |  | | | | |
| ⑫　ライセンスの種類 | | | | パーマネントライセンス　　　／　　　90日限定ライセンス | | | | |
| ⑬ ライセンスサーバでの  “rlmutil rlmhostid　-ether”の実行結果 | | | |  | | | | |
| ⑭ 貴社名 | | | |  | | | | |
| ⑮ 貴社名(英語表記) | | | |  | | | | |
| ⑯ 部署名 | | | |  | | | | |
| ⑰ お名前 | | | |  | | | | |
| ⑱ TEL | | | |  | | ⑲　FAX |  | |
| ⑳ E-Mail | | | |  | | | | |

このライセンス申請書に記載していただいたお客様の個人情報は、当該ライセンスの発行、登録、更新等に必要な業務にのみ使用し、別途ご同意をいただかない限り、その他の用途には使用いたしません。

また、お預かりしますお客様の個人情報は、個人情報保護関連法およびガイドラインに従い、責任をもって管理いたします。なお、当社の「個人情報の取り扱いについて」は次のサイトでご確認いただけます。

<http://www.toyo.co.jp/privacy.html>

**ライセンス申請書記入要領**

このライセンス申請書は、**QA･C7.2.3J-R/QA･C++2.5.1J-R/QA･Verify1.3Jおよび、これ以降**のバージョン用です。

これ以前のバージョンのライセンスファイルのご申請については、[ss\_lic@toyo.co.jp](mailto:ss_lic@toyo.co.jp) 宛てにお問い合わせください。

* 注意事項
* ＜動作可能バージョン＞  
  ライセンスファイルは、ライセンスファイルを作るときにリリースされているReprise版のQA･C /QA･C++ /QA･Verifyの最新版までが動作するものをお作りします。
* ＜申請書の必要枚数＞  
  **動作させるサーバ1式に対して、申請書が1枚必要です。**
  + 記入要領

(1) 以下の項目はライセンスの発行に必須になります。申請形態に関わらず必ず記載してください。

* ⑫　ライセンスの種類

「パーマネントライセンス」もしくは「90日限定ライセンス」のいずれかをお申し込みください。パーマネントライセンスを発行するためには御社とPerforce Software社間でライセンス使用許諾が締結されている必要がありますので、ご注意ください。

* ⑬ ライセンスサーバでの“rlmutil rlmhostid　-ether”の実行結果

“rlmutil rlmhostid -ether”は、ライセンスサーバとするコンピュータで実行してください。“rlmutil rlmhostid -ether”実行手順は、本書の1ページ目をご参照ください。

* ⑭～⑲　会社名、部署名、お名前、TELおよびFAX

貴社名とライセンスを管理されている方（あるいはご購入担当者）の御所属ならびに連絡先を記入して下さい。

* ⑳　E-Mail

ライセンスファイルは、ここに記入していただいたE-Mailアドレスに送ります。原則として⑰で記入していただいた方のアドレスを記入して下さい。何らかの理由で、⑰に記入していただいた方のアドレスでない場合は、E-Mailアドレスとお名前をお書き下さい。

(2) 申請形態(①)に依存してご記入が必要になる項目

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| * 新規 | ： | 新規にライセンスサーバを構築される場合、かつ、そのライセンスサーバによって管理される全クライアントでQA･C7.2.3J-R/QA･C++2.5.1J-R/QA･Verify1.3J以上が実行される場合。  ご記入いただく項目は   * ライセンス数　(③・⑥・⑨・⑩) * 管理番号　(④・⑦・⑪)   になります。 |
| * 追加 | : | 既存のライセンスサーバに追加でライセンスを追加される場合。ご記入いただく項目は   * 旧ライセンスファイル名 (②) * ライセンス数　(③・⑥・⑨・⑩) * 管理番号　(④・⑦・⑪)   になります。ライセンス数と管理番号には、追加されるライセンスの本数と管理番号をご記入ください。 |
| * バージョンアップ | : | ライセンスサーバの変更を実施せずに、利用できる製品のバージョンをアップグレードされる場合。ご記入いただく項目は   * 旧ライセンスファイル名 (②)   になります。 |
| * ライセンスタイプ変更   (FLEXlm->Reprise) | ： | 現在FLEXlmライセンスサーバを利用しているが、QA･C7.2.3J-R/QA･C++2.5.1J-R/QA･Verify1.3J以上を利用するため、Repriseライセンスサーバへの移行をご希望されている場合。ご記入いただく項目は   * 旧ライセンスファイル名 (②)   になります。 |

(3) 申請形態（①）に依存して、ご記入が必要になる項目に関する詳細

* 申請ライセンス数　　(③・⑥・⑨・⑩)

ご申請頂いたQA･C/QA･C++ライセンスの本数分のライセンスを発行(追加)いたします。ライセンスファイルは、申請書１枚に対して１ファイル発行されます。プラットホームには各製品が動作するプラットホームをご記入ください。

* 管理番号　　(④・⑦・⑪)

ご申請いただいた管理番号に対応するライセンスを発行(追加)いたします。最初のライセンス発行時にお届け時にお知らせいたしました管理番号（SO+4桁数字 または T + 4桁数字）をご記入ください。プラットホームには各製品が動作するプラットホームをご記入ください。新規に製品をご購入された方は、管理番号の代わりに「新規」とご記入ください。

* 旧ライセンスファイル名　　(②)

使用期限を延長したいテンポラリライセンスファイル、紐づけされているマシンを変更したいライセンスファイル、ライセンスタイプを変更したいライセンスファイルの名前をご記入ください。

(4) コンプライアンスモジュールをお持ちの場合

以下のコンプライアンスモジュールをお持ちの場合は、対応する管理番号　(⑤・⑧)

をご記入ください。新規にコンプライアンスモジュールを購入された方は、管理番号の代わりに「新規」とご記入ください。

* MISRA C:2004
* MISRA C:2012
* CERT C
* CWE C
* MISRA C++:2008
* AUTOSAR C++
* CERT C++
* CWE C++

以上で申請書の記入が終わりました。E-mailに添付するかFAXで申請書を送って下さい。

問合せ先

**E-MAIL：**[**ss\_lic@toyo.co.jp**](mailto:ss_lic@toyo.co.jp)

**FAX：　03-3246-0645**

**TEL：　03-3245-1248 (直通)**

(株)東陽テクニカ　ｿﾌﾄｳｪｱ･ｿﾘｭｰｼｮﾝ　QA･C / QA･C++/QA･Verifyライセンス申請係